

三重県議会議員 小林正人 県政レポート

facebook

皆様からの「いいね!」を
お待ちしております

<https://www.facebook.com/masato.kobayashi.9421>



vol.
29

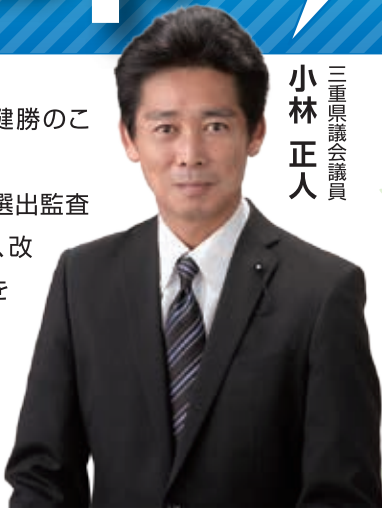


ご挨拶

師走の候 皆さまに於かれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今回で第29号となります県政レポートですが、主に議員選出監査委員として、知事、副知事、各部長、ないしは正副議長に報告、改善を求める意見等の内容(抜粋)と自身の地域での議員活動等を中心にご報告させていただきたいと思っております。その際、また皆様から、レポートを通じてご意見、ご指導等いただけましたら、今後の議会活動の中で活かしてまいりたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

時節柄、寒い日が続きますのでお身体には充分ご留意ください。



三重県議会議員
小林正人

監査の概要(H28年度)

主に財務の執行に関するものと事業の執行に関するものの二種類があり、対象箇所数は本庁、地域機関等(県出資団体、公の施設管理団体、補助金など交付団体等)合わせて360箇所。内訳は本庁実地監査178件と書面監査3件、地域機関の実地監査は46件で書面監査は133件ありました。また重点監査事項として、財務の執行に関する監査においては①工事、物件等における入札中止状況 ②未利用地の状況 ③収入支出に関する事務 ④財産管理の状況、事業の執行に関する監査では各部署等の主要事業の進捗状況を、それ以外では職員の服務規律違反などを調査いたしました。

三重県監査委員



平成28年度定期監査の結果について

知事、副知事に報告ないし意見、改善を求めた内容(抜粋)

財務の執行に関する監査においては、入札中止が214件、未利用地活用の検討が不十分であったものが6件、収入支出に関する事務等の不手際が251件、その他改善を要するものとして、人件費が10件、財産管理等が67件、交通事故が27件あり、今後は財務の適切な執行に努められたいと求めました。また財務以外のものでは、病欠休暇の不正取得や旅費等の不正受給等、県行政への信頼を損なう重大な事案もあるため、今後、法令順守及び服務規律の徹底を図り再発防止に努められたい旨を伝えました。

各部署に意見・改善を求めた内容(抜粋)

1 総務部

・服務規律の徹底

平成27年度の懲戒処分については、前年度の2人から増加し、6人の知事事務局職員が病欠休暇の不正取得、旅費等の不正受給などにより処分されている。こうしたことから、職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上を図るとともに、県民の信頼を確保する観点から、今後このような事案が発生することのないよう、職員研修の強化・拡充に引き続き取り組み、法令遵守及び服務規律の徹底を図り、再発防止に努められたい。

・県税及び県税以外の未収金対策

平成27年度における県税の収入未済額は、39億9,611万円であり、前年度に比べて5億4,979万円(△12.1%)減少しているものの依然として多額となっている。特に、県税の収入未済のうち82.5%(前年度82.7%)が個人県民税の収入未済であり、県税の収入未済において大きな割合を占めているので、引き続き、市町及び三重地方税管理回収機構と連携し、税収確保に努められたい。また、県税以外の未収金が71億5,195万円あるため、「三重県債権の管理及び私債権の徴収に関する条例」等に基づく債権管理事務及び債権処理計画の進捗管理を適切に行い、県全体の未収金が縮減されるよう、引き続き、各部署に対し指導されたい。



2 健康福祉部

・医師確保対策

県の人口10万人当たりの医師数は207.3人で、全国平均を下回り(第36位)、さらに医師の地域偏在、診療科偏在が大きな課題となっている。このため、県地域医療支援センターを立ち上げ、平成26年度から三重専門医研修プログラム(後期臨床研修プログラム)を開始し、県内医師の確保に取り組んでいるところである。今後は、これまでの取組成果や医師修学資金貸与者の意見等を踏まえ、医師修学資金貸与制度も含め、より魅力のある研修プログラムになるよう必要な見直しを行うなど、医師不足や地域偏在等の解消に取り組まれたい。

・健康づくりの推進

高齢者の増加や長寿命化に伴い、医療費が増加し、県民生活及び県財政に大きな影響を及ぼしている。県民の「平均寿命」(男80.9歳、女87.1歳)と「健康寿命」(男78.0歳、女80.7歳)には差があることから、「健康寿命」を延ばすことが大きな課題となっている。また、死因の第1位であるがんについても、早期発見・早期治療が何よりも重要となっている。このため、運動習慣の定着などの健康づくり対策、さらには特定健康診査やがん検診の受診率の向上を図るなど、生活習慣病とがんの予防対策を一層推進されたい。

・子どもの発達支援体制の構築と充実

平成29年6月の開設をめざして三重県立子ども心身発達医療センターの整備を進め、発達障がい児等に対する地域支援の拠点として機能強化を図ることとしている。こうした中、発達支援が必要な子ども等に携わる「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」の育成や、発達障がい児等に対する早期発見・支援ツール(「CLMと個別の指導計画」)の普及・導入に向けた取組などを一層推進することにより、市町等と連携した、途切れのない子どもの発達支援体制の構築と充実が図られたい。

3 地域連携部

・地籍調査事業の促進

地籍調査は、国土調査法に基づき、土地の最も基礎的な情報である地籍を明らかにするものであり、災害復旧の迅速化等に資するものであるが、進捗率は平成27年度末時点で9.3%と、全国平均の51.0%と比較して極めて低い。このため、南海トラフ地震などによる津波や、集中豪雨による土砂災害などからの迅速な復旧・復興に資するよう、大規模災害が想定される地域について、重点的に進めるよう市町に働きかけるなど、地籍調査事業の一層の促進に努められたい。



4 農林水産部

・農業用ため池の防災・減災対策

近年の豪雨や大規模地震等により全国で多くのため池が被災し、大きな被害が生じていることを踏まえ、平成27年度までに市町による県内ため池の一点検を実施している。その結果、決壊時に人的被害が想定されるなど下流域における被害の大きい防災重点ため池108箇所を把握したが、ハード整備には多額の費用と年数が必要であることから、優先順位を付けて計画的に整備を進められたい。また、災害時に地域住民の迅速かつ的確な避難を確保するため、早急に「ため池ハザードマップ」を作成・公表するよう引き続き市町に働きかけられたい。

5 県土整備部

・土砂災害警戒区域の指定

土砂災害から人命や財産を守るため、土砂災害の恐れがある土砂災害警戒区域の指定が行われており、平成27年度末の指定率については、前年度末の28.9%(全国38位)から、39.0%(全国37位)まで改善したものの、全国平均の79.6%を大きく下回っている。現在、平成31年度までに、県内の土砂災害危険箇所16,208箇所の基礎調査を完了させることをめざして作業が行われているが、今後も引き続き、市町と連携しながら着実に区域指定を進められたい。



6 教育委員会事務局

・学校施設における非構造部材の耐震対策

県立学校における天井材、内・外装材等の非構造部材の耐震対策については、学校単位での対策実施率は、20.3%にとどまっている。また、平成26年度に行った屋内運動場(体育館)等の天井等点検結果に伴い、天井等落下対策が必要とされた130棟のうち、83棟が未完了となっている。地震発生時には、教室や屋内運動場等の天井や内外装材の落下、損壊により生徒がけがをするなどの被害が発生する可能性があるため、屋内運動場等の天井等落下防止対策をはじめとする非構造部材の耐震対策について、早期の完了に努められたい。

7 警察本部

・犯罪の抑止と検挙率の向上

平成27年の刑法犯認知件数は、15,178件で、前年から2,372件、13.5%減少し、また、同年の重要犯罪検挙率は81.3%で、前年度から6.5ポイント上昇するなど、一定の改善があった。しかし、空き巣、忍込み、殺人や強姦、また高齢者が被害者となる特殊詐欺などの認知件数が、いずれも前年から増加しており、県民の体感治安に大きな影響を及ぼしていることから、県民が「安全・安心」を実感できる地域社会の実現に向け、引き続き、地域や関係機関と連携し、犯罪の抑止と検挙率の向上に取り組まれたい。



地域での主な活動報告

Major activities reported in the area Masato conducted.



数ある活動の中から一部を抜粋して掲載しています。



庄野地区で市、県、国に対する要望についての意見交換会



スポーツ振興
新極真空手三重県大会にて



保育園夏の行事に参加
(毎年わたがし担当)



鈴鹿の新しい文化振興に①
(げんき花火の皆さんと)



鈴鹿の新しい文化振興に②
(げんき花火の皆さんと)



稲生地区伝統の行事虫おくり



生コンクリート業界の現状等視察
(津市選出前野議員と共に)



白子漁港において防風提等設置や漁業の現状把握



市内小学生の書写、絵画美術作品展にて



第8回全国自治体議会改革推進シンポジウム四日市都ホテルにて



スポーツ振興、鈴鹿サイクリング協会主催秋の大会にて



特別養護老人ホーム敬老会のお祝いに



石垣地区子ども会、芋ほり等自然体験



稲生地区防災訓練にて



若松地区不法投棄等ボランティア清掃活動現場にて



神戸地区スポレクにも毎年参加



動物愛護問題について市民、行政との意見交換会に参加



稲生地区収穫祭に毎年参加



鈴鹿げんき花火大会事業報告会にて

鈴鹿建設事務所 平成28年度12月補正事業箇所一覧 (主なもの)

厳しい財源の中、全体で約6億円程度確保できました。それにより28年度総事業費は全体で約27億円になります。

(単位:千円)

事業名	施工箇所	平成28年度事業費	平成28年度事業費(補正)	平成28年度事業概要
四日市関線道路改築事業(交付金+地方道路設備)	鈴鹿市大久保町~山本町	397,425	100,000	用地補償 C=107,425 道路工 C=290,000
稲生山線 交通安全事業(交付金)	鈴鹿市白子町	51,855	27,000	人道橋上下部工
鈴鹿公園長沢線 交通安全事業(交付金+県単)	鈴鹿市山本町~小岐須町	6,000	45,000	橋梁下部工
椋川 河川改修事業(交付金)	鈴鹿市小田町~亀山市椿世町	105,000	80,000	仮設道路工(仮橋下部工)、用地買収、支障移転
道路交通安全対策事業費(交付金+県単)	鈴鹿建設事務所管内	12,000	21,886	交通安全施設工、安心路肩道路情報版
公共土木施設維持管理費(交付金+県単)	鈴鹿建設事務所管内	504,930	10,000	舗装修繕、側溝整備、小規模修繕、雪氷対策等
堀切川排水機場、釜屋川排水機場、長寿命化事業(交付金)	鈴鹿市 寺家3丁目、4丁目	-	20,000	長寿命化設計

● 県管理河川早期改修のため、地域の方々と要望活動

